

公表：令和 6年 6月 24日

事業所名：：放課後等デイサービス じょうなんキッズ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員以上のスペースは確保しています。また活動場所も室内・室外共に用意されています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			利用児に対する人員配置基準に加え、より細やかな支援が行えるように加配人員も配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			一部バリアフリーでない箇所もありますが、対策をとり過ごせるように工夫しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			集計後に法人のホームページにて公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	法人内で第三者評価を受けている事業所もあり、共通の部分においては改善できるよう努めています。順次第三者評価を受ける予定にしています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個々の特性に応じたプログラムの立案を行うようにしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			目的がある場合は活動を固定することもあります。様々な経験ができるようなプログラムを組むようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に長期休暇中は活動の時間を明確にしメリハリがつくように設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援の目的や利用児の状態に応じて、小グループや個別で対応できる体制を常にとっています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			サービス提供の翌日にケース会議を行い、個人毎に支援の振り返りと課題の検討を行い、次からの支援に繋げています。	
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑫	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者とのモニタリングや事業所内での会議にて療育の効果や目的を確認し、利用児の変化に対して素早く対応出来るようにしています。	
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				卒業後、移行先の事業所で安心して過ごせる様に、必要となる情報は保護者、本人の同意を得て、情報提供を行っています。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			地域の児童クラブ等との交流は出来ませんでしたが、同一法人の放課後等デイサービスとの合同活動を定期的に行いました。
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				事業所より1名参加しています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				お迎え時や送迎時に活動中の様子を詳しく伝え、一緒に発達の状況や課題の確認を行っています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			家庭での関わり方に対して、事業所での成功例を基に、声掛けの方法等のアドバイスをしています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			12月にファミリー交流会（クリスマス会）と3月に茶話会を行い利用児、保護者、職員の親睦を深めました。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）の項目に避難訓練を定期的に取り入れ、地震、水害、火災等の災害を想定した訓練を行っています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人の虐待防止委員会への参加や園内研修を受講、定期的に支援の振り返りを行い虐待に繋がるような支援になっていないかを確認しています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食物アレルギーの有無は確認を行っていますが、現在該当者はおらず、また食事の提供も行っておりませんので指示書はいただいていません。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所でもヒヤリハットをあげ、環境や支援の見直しを行っています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。